

第 23 期

定時株主総会資料

平成 29 年度
平成 30 年度

事業報告書
事業計画書



平成 30 年 6 月 28 日

株 式 会 社 エ フ シ ー

第 23 期 定 時 株 主 総 会 次 第

1. 開会の言葉
2. 代表取締役社長挨拶
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 議事

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書、貸借対照表、
損益計算書、及び利益処分案の承認に
ついて

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画の設定について

第 3 号議案 平成 30 年度取締役及び監査役の報酬
決定について

第 4 号議案 取締役の選任について

第 5 号議案 その他

付 帯 決 議

6. 議長解任
7. 閉会の言葉

第 23 期 定 時 株 主 総 会 議 案

平成 30 年 6 月 28 日
株式会社エフシー

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び利益処分案の承認について

第 2 号議案 平成 30 年度事業計画の設定について

第 3 号議案 平成 30 年度取締役及び監査役の報酬決定について

平成 30 年度取締役の報酬は、13,000,000 円以内、監査役の報酬は、100,000 円以内とし、その範囲内においてそれぞれの役員会に一任する。

第 4 号議案 取締役の選任について

第 5 号議案 その他









付 帯 決 議

本日の決議中、軽微な事項の修正、及び違算数字の修正等については、行政庁から指示があった場合には、決議の本旨に反しない範囲において必要な修正を取締役会に委任するものとする。

定時総会に対する取締役の提出書

平成 29 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び利益処分案を別紙のとおり定時株主総会に提出します。

平成 30 年 6 月 14 日

代表取締役社長	三瀬逸雄		取締役	増田清	
取締役	肱川一憲		取締役	福井義夫	
取締役	高橋司		取締役	藤川忠男	
取締役	三上宗一		取締役	田中二郎	

監査の意見書

平成 30 年 6 月 14 日取締役会より提出された平成 29 年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、利益処分案の各事項について監査をおこなったところ、その内容はいずれも正確適正に処理されていることを認めましたので商法第 275 条により報告します。

平成 30 年 6 月 14 日

株式会社エフシー

監査役 二宮宇明

監査役 宇都宮孝康

監査役 芝祥正



平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

1. 総括事項

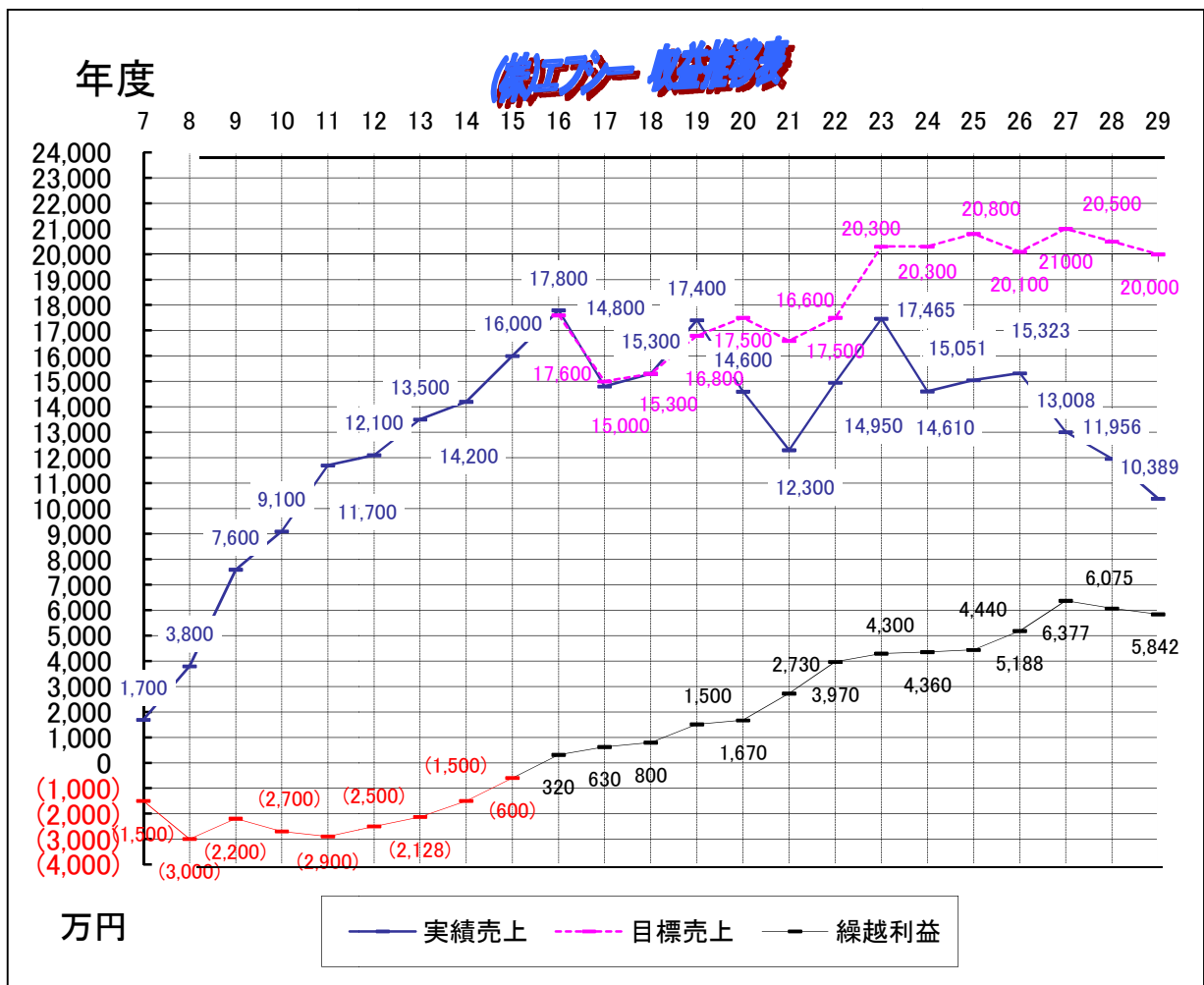
自然林の森林は自然に再生していきますが、人工林は植林して伐採するまでの間に、間伐や枝打ち、下刈りをしたりするなど持続的に手を入れていかなければなりません。それらを怠ると木が十分に育たずに木材としての価値がなくなるばかりか、保水力が失われ大雨によって山崩れや水害を引き起こす原因となります。

森林には、災害を防ぐ国土保全機能や、水源涵養機能、二酸化炭素の吸収と酸素の生成など、さまざまな機能があります。それらが十分に発揮される条件が、森林がよい状態で保全されていることです。

(株)エフシーにおいても間伐を適正に行うことで、人工林の手入れを行うとともに、担い手の育成に努めた1年でした。

しかし、今年度においても素材生産量、森林整備面積ともに計画（10,000 m³ 175ha）を下回りました。

今後も引き続き後継者の育成を進めるとともに計画を達成することで西予市の森林整備を促進していきます。



事業報告事項

年 月 日	事 項
平成 29 年 4 月 3 日	年度始め式
19 日	愛媛県造林担当者会（松山）
21 日	緑の担い手事業説明会（松山）
26 日	城川林業研究会役員会（エフシー）
5 月 8 日	土居税理士事務所来社（決算処理）（エフシー）
9 日	西予市林業研究会総会（宇和）
15 日	城川林業研究会総会（城川）
15 日～17 日	緑の担い手指導員能力向上研修（中野町）
24 日	林業 ICT（通信情報技術）打合せ（エフシー）
6 月 5 日	フォレストワーカー 1 年目集合研修講師（久万）
7 日	西予市林業活性化推進協議会（センター）
12 日	林業就業支援事業講師（松山）
12 日～13 日	フォレストワーカー 2 年目集合研修（松山）
14 日	定時取締役会・決算監査（エフシー）
16 日	古市共有林総会（城川）
21 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（松山）
21 日	林業行政担当者会（八幡浜）
23 日	伏越共有林総会（城川）
28 日	第 22 期定時株主総会（総合センターしろかわ）
7 月 4 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（久万）
5 日	西予市安全運転管理者総会（宇和）
6 日～7 日	フォレストワーカー 2 年目集合研修（中野町）
10 日	フォレストリーダー研修講師（松山）
7 月 13 日	西予市安全運転管理者講習（宇和）
13 日	愛媛県林業振興会議（松山）
18 日	林業架線作業技術コース開講（久万）
24 日～25 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（大洲）
27 日	フォレストワーカー 2 年目集合研修（久万）
28 日	社員健康診断（城川保健センター）
31 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（中野町）
8 月 4 日	フォレストワーカー 2 年目集合研修（東温市）
7 日～9 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（東温市）
8 日	三セク経営評議会（宇和）
9 日～10 日	林業インターシップ ^o 講師（西条市）
10 日	西予市林業研修会役員会（宇和）
11 日	山の日

年 月 日	事 項
平成 29 年 8 月 22 日	林業労働災害防止等説明会（八幡浜）
23 日～25 日	林業架線作業技術コース講師（久万）
30 日	第 50 回奥伊予ふるさと祭実行委員会（城川）
31 日	愛媛県産業経済部視察（エフシー）
9 月 11 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（今治）
12 日	森林整備事業ヒアリング（松山）
13 日～15 日	フォレストワーカー 2 年目集合研修受入（エフシー）
21 日	城川町企画指導班林業部会（城川）
10 月 11 日～13 日	フォレストワーカー 1 年目集合研修受入（エフシー）
16 日	高性能林業機械作業技術コース開講（久万）
17 日～18 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（松山）
20 日	城川中学校林業教室（城川）
11 月 1 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修（四国中央市）
8 日	肱川流域林業活性化協議会（大洲）
11 日	第 50 回奥伊予ふるさと祭
22 日	フォワード 特別教育実技研修受入（エフシー）
27 日	フォレストワーカー 3 年目監督検査（エフシー）
29 日	林業躍進プロジェクト推進会議（八幡浜）
30 日	フォレストワーカー 3 年目集合研修講師（森林公園）
12 月 4 日	健康管理指導（エフシー）
6 日	林業巡回健康診断（野村）
8 日～9 日	社員視察研修（島根）
11 日	フォレストワーカー 1 年目集合研修講師（中野町）
22 日	定時取締役会（エフシー）
28 日	仕事納め
平成 30 年 1 月 4 日	仕事始め
10 日	フォレストワーカー 3 年目監督検査（エフシー）
26 日	伐木等従事者安全衛生教育（久万）
26 日	林業技術研修修了式（久万）
2 月 5 日～6 日	会計検査受検（八幡浜）
20 日	西予市林業振興連絡会（宇和）
27 日	ウッドスタート宣言講演会（野村）
28 日	外国人技能実習制度研修会（松山）
3 月 6 日	地域活性化学習会講師（宇和島）
22 日	肱川流域作業部会（大洲）
23 日	愛媛県林業労働力育成協議会（松山）

役職員

区 分	役 員			社 員
	常勤役員	非常勤 役員	監査役	
前年度役職員	3	5	3	23
本年度就任（採用）				
本年度辞任（退職）				3
本年度末現在	3	5	3	20

株主及び資本金

区 分	出資者数 (人)	資 本 金	
		口数 (口)	資 本 金 総 額
前年度資本金	48	1,719	85,950,000
本年度中増加			
本年度末現在	48	1,719	85,950,000

受託事業状況

事業名	面 積	延就業人数	金 額	備考
育 林	52.4ha	752	21,035,576	
造 林	0.1ha	2	41,000	
搬出間伐	95.4ha 7,414 m ³	1,665	110,121,460	
計	147.9ha 7,414 m ³	2,419	131,198,036	

平成30年度事業計画

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

1. 事業方針

林業は山で木を育てて、成長したら伐って木材とし販売することで生計を立てています。また、森林の多面的機能は私達の生活の安定向上と経済の発展に寄与しており、伐採を制限し、適切に管理するなど森林の期待される働きを維持できるように森林整備、森林保全をすることも林業の大切な仕事です。

(株)エフシーにおいても、新規林業就業者の確保、育成と、採算性に考慮した効率的な施行を推進していくことで木材供給と雇用の拡大を図り、地域に貢献していきます。

素材生産量

年度	実績				計画
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総生産量 (m ³)	10,069	12,155	8,741	7,414	8,000
導入機械	導入無し	フォワーダ (グラップル付) ハーベスタ	バックホー7t (グラップル付)	バックホー7t (グラップル付)	導入無し
間伐延就業人数 (人役)	2,242	2,753	2,015	1,665	1,800
従業員数 (人)	30	29	26	23	21

今年度も引き続き林業の知識・技能の習得に努めるとともに下記重点事項に基づき、社員全員の資質向上と経営の安定化に努めていきます。

重点事項

1. 労働災害ゼロ
2. 売上目標の達成
3. 経費削減
4. 担い手育成
5. 創意工夫